

# 桐鈴凛々

第110号

平成28年11月10日発行

発行責任者

社会福祉法人 桐鈴会

理事長 黒岩秩子

南魚沼市浦佐 5142-1

電話 025-780-4118

FAX 025-777-3731

e-mail

[info@toureikai.com](mailto:info@toureikai.com)

<http://www.toureikai.com/>

## 桐鈴会の理念

- ・ 終のすみかを目指す
- ・ 「迷惑をかけ合える関係」を目指す
- ・ 高齢者、しようがいしや、子どもたちが安心して住める地域を創ろう



## 「Tさんプロジェクトチーム」 鹿児島日記

ケアハウス鈴懸管理栄養士 片桐康雄



「NPO在宅ネットを支える診療所・市民全国ネットワーク全国の集いin鹿児島」に参加してきました。日程は9月18

日・19日の2日間。参加者は、ケアハウス鈴懸職員Tさん、管理栄養士片桐康雄、施設長鈴木智子、グループホームひまわり・ケアホームおひさま管理者小林裕子、シンポジウムの座長として黒岩秩子理事長と5名で鹿児島市へ行ってきました。理事長以外全員鹿児島は初めてでした。医療、薬局、介護の立場から様々な事例や課題を提供してくれる大会で今回も全国各地

からたくさんの方の発表がありました。私たちは各自自分の興味のあるシンポジウム、セミナーに参加しました。



鹿児島のシンボル  
西郷どんの銅像

その中で私たちが最も関心を持ったのは、長崎県の南高愛隣会「結婚推進室「ぶーけ」」です。これは障がい者の結婚・出産・育児・家庭を支援する南高愛隣会の自主事業です。

さすがと思ったのは相手を見つけて結婚させて支援終了ではなく、出産・子育て・妻の言い分・夫の言い分・生計の立て方等、家庭を営んでいくこと全般に細かな支援が行われていることです。私は障がい者同士の結婚、特に知的障がい者同士の結婚はあり得ないと思いついていました。が、継続的な支援体制さえ整備されていれば好きな人と生涯共に暮らすことが夢ではないことを教えてもらいました。出産については、障がいを持った赤ちゃんが生まれる確率が高いことを伝えます。でもやっぱり自分たちの子どもが欲しくて出産するそうです。

「ぶーけ」のシンポジストで太鼓奏者でもある辻浩一郎さんは、「好きな人と暮らせて幸せ」と語り、「太鼓公演のため長く家を空けるので、家族と会えない間が淋しいし妻のことが心配です」と家族を気遣う姿は当たり前。前の夫の姿でした。私は差別がいけないとわかってはいるつもりでも、知的障がいを持つ人が家庭を持つのは無理と決めつけていた自分に気付きました。障がいを持つ人も普通に家庭を築ける社会は、障がいを持たない人にとっても住み心地が良いはずで、障がい者に対する様々なバリアを無くすことが全ての人の幸せにつながるとしみじみ感じました。

さて「Tさんプロジェクト」

発表です。勤続14年、桐鈴会に就労後、療育手帳を取得し、無遅刻・無欠勤、冬でも汗だくで仕事に励むTさんの勤務態度に「？・？・？」の変化が見ら

れました。注意、指導しても改善が見られません。何を言っても無駄だと誰もがあきらめかけていましたが、「以前は、みんなと一緒に好み焼きを食べべに行つて、おしゃべりもしていたのに一体何があつたのかな？」とつぶやく職員が何人もいました。そこで「Tさんプロジェクト」を結成し、Tさんをお好み焼きに誘い、鉄板を囲みお話を聞きました。その話を聞いているうちに、「Tさん、そろそろ自立する時期では？」とみんなが思いました。

Tさんは自宅を離れグループホームひまわりに入居しました。すると、他の入居者とうまくやっていますし、勤務態度も改善しました。Tさんを「困ったさん」と思っていました。が、実は「困っている人」だったのです。

この顛末を事例発表したのですが、見どころは最後にTさんが登場して将来の夢を語る場面です。桐鈴会で60歳まで働きたいこと、母への気遣い、趣味のスポーツのこと等、大きな声で立派に発表してくれました。見

てくださる方の反応が良く、発表終了後Tさんに声をかけてくれる人もいました。Tさんにとって忘れられない一日になる事でしょう。



追記

3ページ、文化祭作品、鈴懸のコーナーにある習字『早朝散歩』はTさんの作品です

### ウエルカム、キルギス シスターズの演奏会

グループホーム桐の花

貝瀬房子



去る8月29日、午後3時より、夢草堂においてキルギス共和国の中学生の姉妹、姉のアイカさん、妹のベグさんによる演奏会が開催されました。2人のお母さんは国際大学の学生。そのため現在大和中学に通っています。当日は地域の方を始め、桐鈴会の利用者、入居者、職員も参加させていただきました。キルギス共和国は旧ソビエト連邦、国土の40パーセントは標高3000メートルを超える山

国です。中国との国境は天山山脈からパームール高原に伸び、険しい山国をご想像いただけると思います。そんな遠い国キルギスの姉妹が民族楽器で、昔から伝わる曲「恥ずかしい少女」と「馬がはしる」の2曲を演奏して下さいました。

口にくわえて奏でる楽器オーズコムズは、慣れないと中々音が出ないのだそうです。もう一つの楽器コムズは3本の弦を持つ、日本の三味線に似たような楽器でした。同年代の方は皆この楽器を操ることが出来るのですか？誰から教えて頂くのですか？との黒岩理事長の質問に、同年代の人みんなが演奏できるのではないことと、学校が終わりの放課後に習いに行っているとのお答えでした。習いごとや塾と、国は違っても日本の子どもさんたちとそうは差がないことを感じました。最初の曲は民族色豊かな曲、2曲目はキルギスの風渡る草原を馬でさっそうと駆けて行く、そんな風景が目に見えかぶような曲でした。短い時間でしたが、お2人はスコットランド民謡に出て来る

ような民族衣装を纏い、耳から目から両方楽しませていただき、有意義な時間を過ごしました。「世界旅行したってーだ」と入居者の声がありました。



民族楽器を演奏するキルギスの姉妹



キルギスの楽器コムズ

大和文化祭 10月29、30日

於 B&G 体育館  
数々の労作を出品しました



工房とんとん



ケアハウス鈴懸



グループホーム桐の花

## とんとん感謝祭報告

工房とんとん 佐藤清子

毎年恒例の感謝祭を今年も9月22日(秋分の日)に、行いました。天気が心配されましたが、開催中に雨は降らず、終了の2時頃降ってきたので良かったです。

今年のワンコインランチは「十五穀米と秋野菜のチキンカレー」でした。感謝祭担当の職員が研究を重ね・・・ルーにこだわった美味しいカレーが出来ました！いかがでしたか?!

生活介護班では、「モンスタをやっつけよう!」といってペットボトルにハロウインのおぼけが貼ってあり、ボウリングをしてそれを倒すというゲームでした。

2階ではパン、お菓子、手作り品の販売を行いました。パンは感謝祭の為に全て新作!!ハロウィンということもありミイラ、黒猫、かぼちゃのおぼけなど可愛いパンが並びました。値段も全て100円か150円と大サー

ビスでした。

また夢草堂ではバザー品の販売が行われました。ご寄付、ご協力ありがとうございました。今年はお越しになったお客様の人数を担当の利用者がカチカチと数えました。200人ほどの方に足を運んでいただけたようです。売上金は総ての合計で187,200円でした。大変ありがとうございました。

感謝祭は皆さまと繋がる良いイベントだと思えます。今後とも工房とんとんをよろしく願います。



飾り付けもグローバルにがんばりました



## 障がい者差別解消法 勉強会感想

工房とんとん 関公恵

10月18日、当初講師をお願いしていた佐藤聡さんが入院してしまい、急遽、黒岩海映弁護士を講師として迎え、障がい者差別解消法についての勉強会が行われました。

障がいを理由とした差別について、改めて考えさせられる時間でした。具体的な事例を挙げられての説明を聞き、本当に様々な場面で起こりうるのだと思います。日常において、ほんの少しの気配り、思いやりが一助になると思うと、もう少しできることはないか、もっと考えなければと感じました。

また障がいのある人の声を聞くこと、話し合うこと、交流を深めていくことの大切さを感じました。お互いを知り、理解していくことが、偏見や差別を無くしていく一歩になるのだということを忘れずに、日々の業務、暮らしの中で活かしていければ

と思いました。



黒岩弁護士の説明を真剣に聴く皆さん

## 工房とんとんよりお願い リサイクル品の回収について

いつもありがとうございます。  
11月いっぱいまで回収をお休み致します。また春からよろしくお願い致します。



## 工房とんとんNEWS

新作パンの紹介です



カフェ・ランチ・パンの店



鳴門金時のデニッシュ  
¥180



マロンデニッシュ  
¥180



りんごのデニッシュ  
¥180



紅芋パン  
¥150



## お知らせ



大好評につき

冬の**サーブスランチパン**はじまります!! 期間 12月～3月  
11:00～14:00 なくなり次第終了します。  
3種類のパン+ミニサラダ+本日のスープ ¥500 ドリンク付き+¥150

土曜日限定

**閉店時間変更** 期間 11月～2月  
16:00 (ラストオーダー15:30)



## 桜井さんのレシピ

### 魚沼のけんちん汁

寒くなりきのこの季節になりました。温かい食べ物で心も体もフワツとするように今回はけんちん汁を作ってみましょう。

材料 4人分  
里芋 2個  
大根 100グラム  
豆腐 1/4丁  
車麩 1個 油揚げ半分  
人参 30グラム  
なめこ 50グラム  
ゴボウ少々  
だし汁 800cc  
醤油 大さじ1と1/2  
酒 小さじ1



まず野菜をよく炒め全体に油が回ったらだし汁を加え柔らかくなるまで煮る。なめこ、豆腐を加え味付けをする。最後にゴボウのささがきを入れてでき上がり。

## 小野寺榮子さん 追悼



「出会い…そして別れ」

おはようヘルプ 井口礼子



元気な頃の小野寺さん

私が初めて小野寺さんに会ったのは、昭和から平成へと変わる年、特別養護老人ホーム「八色園」でした。全く職種の違い、保母から寮母になり、悪戦苦闘の毎日でした。覚えるのに必死な私に、小野寺さんが解り易く色々教えて下さり、本当に助かりました。

その後定年退職され、鈴懸で働いていると聞いていましたが、まさか自分も働くことになるとは思いませんでした。

それは私が手指の関節炎を患い、前職を辞めた時のことです。

ある日小野寺さんから電話が入り、「お久しぶりね、鈴懸へ遊びに来ない？」と明るい声が耳

元でしました。「はい行きますとウキウキ出掛け、初めて鈴懸にお邪魔しました。2階のヘルパーセッションでの再会。前から綺麗な方ですが、活き活きされていました。そしてヘルパーの話をされ、私の指の状態を考慮するからと言われ、返答に詰まっていた時に「大丈夫よ、礼子さんならやれるわよ」と素敵なスマイル。「本当ですか？」と褒められるとすぐ調子に乗るタイプの私は「頑張ります」と言っていました。

早番の仕事から常に小野寺さんが同行して下さり、「八色園での仕事で経験済みで良かったね」と納得。慣れてきたところで、「在宅ヘルパーで毎日何う利用者宅へ行ってほしい」との事。同行して頂き、詳細を理解しやすく説明、心得も学びました。「おはようヘルプ」から「おひさま」に異動されてからも、「とんとん」で女子会。ラーメン会、婦人会旅行と仕事を離れての想い出が八海山位ありそうです。

淋しいです。  
ご冥福をお祈りいたします。

「小野寺さんに感謝して」  
おはようヘルプ 井口典子



私はヘルパーになり初めて小野寺さんに同行させていただきました。介護の仕事の経験がなかった私は、色々なことに衝撃を受け、不安でいっぱいになってしまいました。帰りの車中で「私はこの仕事をして34年、この仕事は慣れです」と力強くおっしゃったのです。動揺した私に小野寺さんの精一杯の励ましの言葉だったのだと思うのです。その後も何気なく声をかけて下さる優しい小野寺さんでした。秋も深まり、教わったあの餅入りチヂミをまた作ってみようかなと思っています。

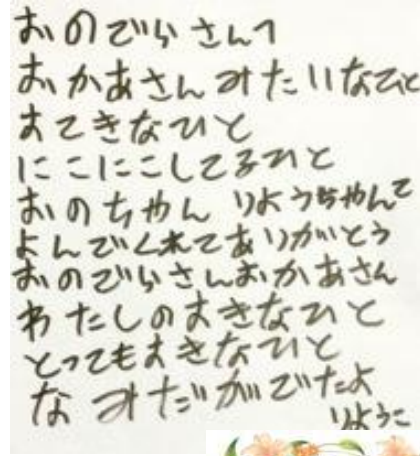


平成28年10月1日。長年桐鈴会の職員だった小野寺榮子さんが永眠されました。6月、臍臓がんの末期との診断書を持って来て退職願となりました。75歳で現職でした。おはようヘルプの管理者として、利用者から選ばれるヘルパーステーションの基礎を作ってくださいました。その後はケアハウスの宿直員、おひさまの世話人と活躍していただきました。

小野寺さんへ

おひさま入居者代表

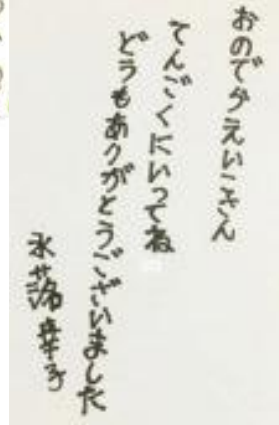
佐藤涼子



(涼子さんは小野寺さんを「おのちゃん」と呼び、楽しく関わっていました。毎朝の血圧測定の際に「今日も涼子さんはリョウコウです」と言って利用者さんを安心させていたことが日常風景でした。)



水落幸子



(幸子さんは就職していた頃も小野寺さんの同僚として働いていました。「小野寺さんだった」と昨日の泊まりの職員を覚えてくれる時はいつも笑顔でした。)



### 告別式の親族挨拶文掲載

「お疲れさま、ありがとう」  
言葉以上の感謝を胸に

長い間介護職に就き、懸命に働いていた母。誰かの喜ぶ顔を見ることに生き甲斐を見出していたのだと思います。病がわかる直前まで、仕事を続けており



ました。人に尽くし、真っ直ぐに駆け抜けてきた人生でした。

畑仕事を楽しんだり、孫を可愛がったり：好きなことをして元気に明るく過ごしていた母の姿も偲べれます。別れを迎えるのは、まだ先のことだと思っただけに悔やまれて仕方ありません。今も畑に目を向けられ、笑顔の母を見つけれられそうなのが致します。せめてもの慰めといえ、最期を看取れたこと。そして母が苦しむことなく、まるで眠りにつくかのように静かに瞼を閉じたことでしょうか。遥かなる地で安らかであるのだと信じて、感謝とねぎらいの気持ち捧げます。

「ありがとう、本当に

お疲れ様でした」

母 小野寺榮子は、

平成二十八年十月一日

行年七十六歳にて生涯を閉じました

生前心通わせ、支えて下さった皆様へ深く感謝申し上げます。

小野寺 寛 親戚一同

編集後記

中越地震から12年、グループホーム桐の花も開設から12年を迎えました。申年は災害が多いと言われています。12年前は地震だけでなく新潟・福島などで風水害も頻発しました。今年の申年は、熊本の震災をはじめ三重県沖の地震、鳥取地震と相次ぎ、桜島や阿蘇山の噴火、台風10号といった多くの自然災害に見舞われました。

生きるために生まれた命、その命を自然災害によって奪われた方の気持ちは、想像を絶すると思います。家族の心は死ぬまで癒えないと思います。

そんな事を考えているのも思い出す金八先生の言葉があります。「最大の親孝行は、親より先に逝かないこと」。何ひとつ親孝行をしていない私に唯一できる親孝行と思ひ、先日、初めて市の検診を受けました。自分の健康は家族の健康。12年後はどんな申年になっているのでしょうか。

グループホーム桐の花

勝又紀子



# 大石亜矢子&大胡田誠夫妻による トーク&コンサート



全盲のご夫妻が2人の子育てをしながら活躍中。  
南魚沼に来られるのは今回が4回目。  
会場はそれぞれ学校ですが、市民の皆さんにも公開されています。  
弁護士大胡田さんのお話もシンガーソングライターの大石さんの音楽もすべて  
私たちに勇気をくださるものばかりです。

\*参考「全盲の僕が弁護士になった理由」大胡田誠著

11月21日(月) \*午後 1:35~2:45 塩沢小学校

11月22日(火) \*午前 10:10~11:40 国際情報高校

(南魚沼総合支援学校生徒さん全員参加。御夫婦の影響を受けてヘレンケラーコンクールピアノ4~6年  
部で1位を取った浦佐小学校5年石田乃彩さんのピ  
アノ演奏もあります。)

\*午後 1:35~2:45 北辰小学校

